

三田市市政出前講座

阪神北わがまち文化財自慢
北摂三田の歴史的風土に
育まれた文化遺産（１）

古代・中世の息吹と近世九鬼水軍の城下町
— 三 田 市 —

地域創生部市民協働室 文化スポーツ課

目次

○はじめに・“撮北三田”

○三田の歴史・・史跡と考古・歴史資料から

・ あげぼの 天神遺跡の概要
 銅鐸製作工人の存在
 交流する古代人と三田

・ 三田の古墳文化 石棚のある古墳
 冠帽を被った王
 焼き物の棺

・ 三田の古代

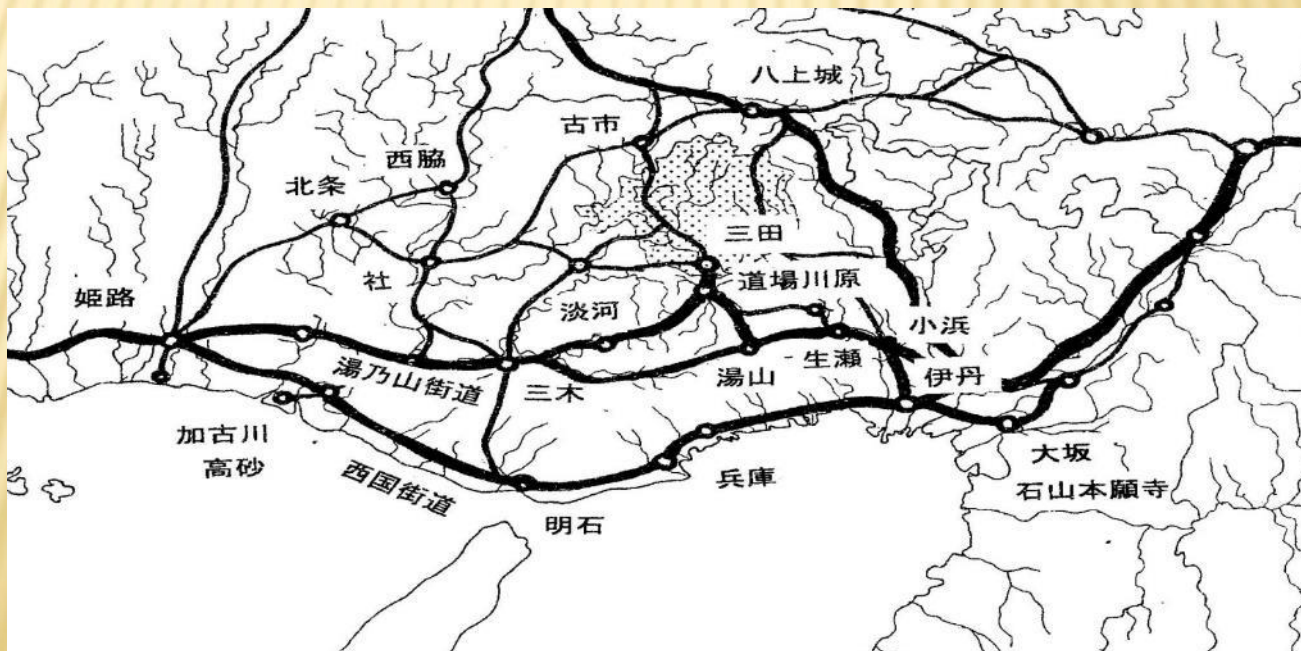
・ 中世の三田 城下町が生まれる

・ 江戸時代・・海から山国へ

・ 明治の群像

●はじめに： “摂北三田”

- 湯治客でにぎわう有馬郡の中心地
- 川辺郡北西部の羽東川流域 “高平”
- 摂津のなかの “播磨” 三田



河内屋・大坂書林刊『新改正摂津國名所舊跡細見大繪圖』天保7年(1836)より



江戸時代の三田と周辺の案内

●三田の歴史・史跡と考古・歴史資料から

- あけぼの
- 天神遺跡・弥生時代の中心的な集落跡



写真34 環濠1出土の壺形土器



写真35 環濠1出土の壺形土器、ミニチュア



写真36 環濠1出土の壺形土器



写真37 環濠1出土の石剣

天神遺跡の概要



- 銅鐸製作工人の存在

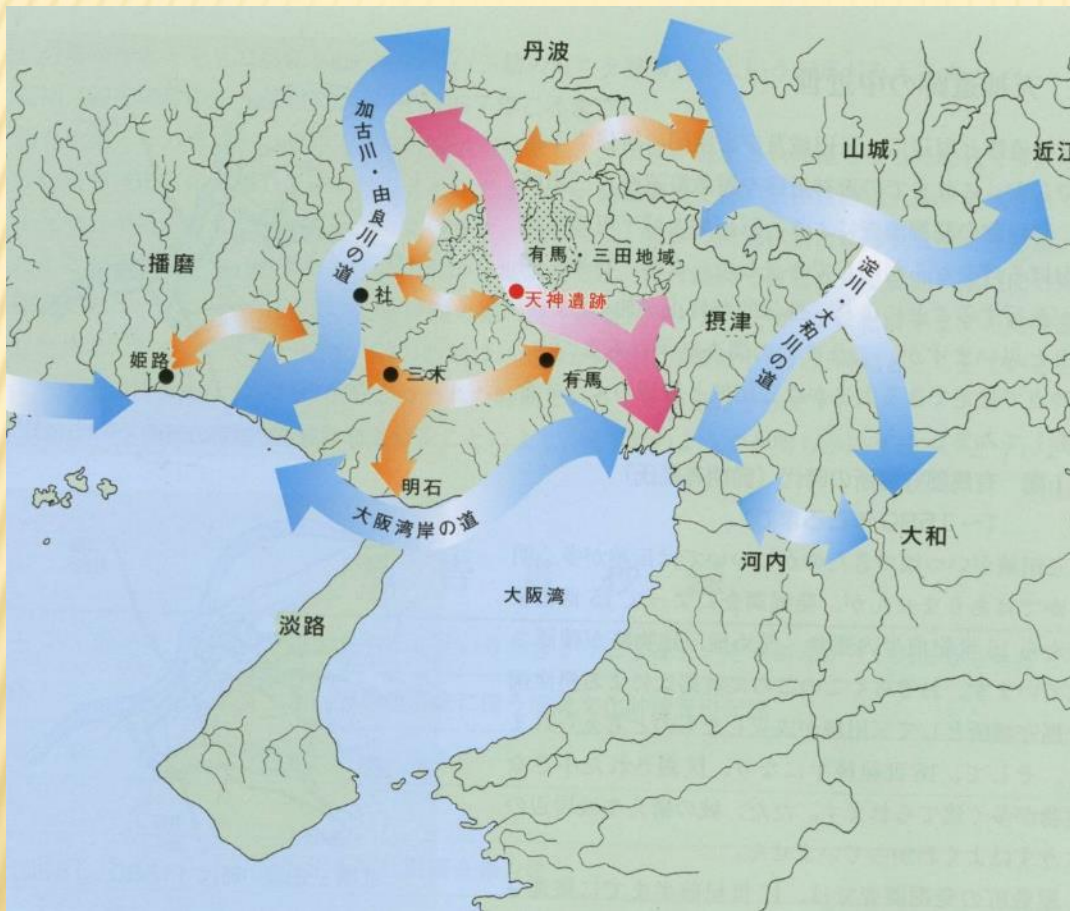
平方遺跡出土品（小銅鐸鑄型）

（県指定重要有形文化財・県所蔵）



弥生時代中期後半（約2000年前）

交流する古代人と三田



三田の古墳文化

- 江戸時代の“名所図会”にも紹介される古墳群
- 石棚のある古墳
東仲古墳（市史跡）



石棚のある古墳

- 加茂古墳群のうち・竹内古墳



冠帽を被った王

- 西山第6号墳出土品（三田市指定文化財）



金銅製冠と
珠捲太刀

焼き物の棺

- 陶 棺（古墳時代） 県指定重要有形文化財



三田の古代

- 焼き物づくり（須恵器）が始まる
- 古代寺院・・金心寺址廃寺（屋敷町遺跡）出土瓦（市指定文化財）

本薬師寺系の瓦の出土
薬師如来、藤原氏の伝承



中世の三田

- 摂津分郡守護有馬氏（播磨赤松氏一族）
- 東部は多田庄の一部、多田御家人の活躍



城下町が生まれる

- 荒木摂津守
村重の侵攻
- 荒木平太夫
重堅のまちづくり
- 信長軍団の
“御敵さんだの城”



江戸時代・・・海から山国へ

- 九鬼氏三万六千石の陣屋町
- 麻田藩青木氏領
- 文化文政期の三田焼



明治の群像

- 社会の海に漕ぎ出した水軍の末裔



- 川本幸民（かわもとこうみん）
- 西洋の知識を広めた「化学」の祖
- 江戸時代の知識の蓄積を
応用すれば何でもできる
ことを示す



- 九鬼隆義（くきたかよし）
- 最後の藩主
- 改革と進取の気風
- 神戸に出て事業を
起こす



- 白洲退蔵（しらすたいぞう）

儒家から政財界へ
白洲次郎の祖父



- 九鬼隆一（くきりゅういち）

“文部の九鬼”

芸術文化、文化財

行政の草分け



- 小寺泰次郎（こてらたいじろう）

白洲退蔵とともに藩政改革

三田学園校祖小寺謙吉の父

屋敷址：神戸「相樂園」

生家址：三田「小寺公園」



● **三田学園中学校本館**（明治45年（1912）
（国有形登録文化財）



● 三田学園創立二十五周年記念図書館

(昭和12年(1937))

(国有形登録文化財)



置塩章：設計

● 前田家住宅（大正15年（1926））

（国有形登録文化財）



阪神間モダニズムの波

西村伊作（西村建設株式会社）：設計

- 九鬼隆範（くきりゅうはん）
- 鉄道の黎明期を支えて
- 御雇い外国人のもとで
技術を翻訳、移入
- 基礎は勝海舟、
江川太郎左衛門
より



- 旧九鬼家住宅（明治8年（1875）ころ）

（県指定有形重要文化財）



九鬼隆範：設計